

伊東洋二郎 いとう じろう 新聞記者。萬延元年陸奥國會津生れ、明治四十一年八月二十日歿（一八六〇—一九〇八）。舊姓小池。號拈華蓮窓、蓮窓（窓）、蓮窓居士等。幼いして孤兒となり伯母に養はれる。のちその姓伊東氏を冒し、母として事へた。明治四年伯母と共に上京、淺草藏前に住す。學歴無く、十一年頃田島象二の門に入りて文學を修め、傍ら佛教の研究に勤しむ。若くは屋に移り、二十二年『龍城新聞』創刊に當つてその主筆となる。

編『議議案評論』全二冊（小池洋次郎名、明治十四年五月内藤傳右衛門出版、溫故堂録版）、『佛教演說軌範』（明治二十一年五月一日出版、七日板權登錄、愛知・其中堂）、『雄辯秘訣實用演說法・日本新編歐米新編演說集一合本』（三版・明治二十三年二月二十日愛知・靜觀堂）、『祝文三千題』（訂正九版・明治二十七年二月二十四日東重堂・大川屋書店）、『淫祠拾遺教會』（明治二十七年九月一日愛知・自刊）他著書多數。

